



今月は、阿蘇中学校で英語を指導しているセシリオ・ヴァスコンセロスさんからの報告です。

『学校での毎日』

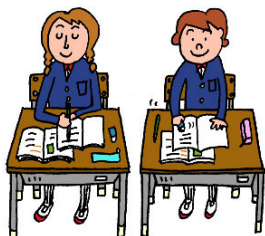
私が南アフリカ共和国から日本に来て、すでに4ヶ月が過ぎましたが、日本の学校生活の中で多くのことを学びました。

まず、南アフリカと日本の学校制度はまったく違います。学校の建物が良い例です。日本の学校では体育館以外の教室は一つの建物の中にありますが、南アフリカでは教室の種類によって建物が違うために、教室を移動するときには必ず外に出ます。だから上履き用の靴といったものはありません。

それに、先生と生徒の関係もまったく違います。

南アフリカでは、先生と生徒と一緒に給食を食べるということがありません。みんな別々に食事をとります。

また、掃除の時間也没有ありません。



でも、南アフリカと日本の中で変わらないものがあります。

それは子どもたちです。最初の授業のときに、私は生徒たちからたくさんの自己紹介を受けました。あまりにも多くの名前を一度に聞いたので、はじめは名前を覚えることができませんでした。何度も授業で会うたびに少しずつみんなの名前を覚えるようになりました。そして、私は南アフリカと日本の学生は変わらないということに気がきました。言葉や文化が違って、子どもたちは変わりません。子どもたちと過ごす時間はいつでも楽しいものです。

私はまだそれほど仕事に慣れていませんが、小学校と中学校で教えるということはとても楽しく、一方でとても大変な仕事です。私は学校で子どもたちに英語や国際理解教育を教えるばかりではなく、子どもたちから多くのことを学ばせてもらっています。

ゆ やま こ どう 古木並木「湯山古道」が完成しました

内牧湯山東公園整備事業として下村久明代表ら有志の皆さんが、内牧温泉街と湯浦郷を一望に見下ろせる湯山に杉の古道を作りました。

この古道は、紀伊半島「熊野古道」（世界遺産）のような古木の素性感あふれる癒しの場にと計画されたもので、約400年前栄えた内牧城主加藤右馬允可重公の墓所や当時植えられた杉などがあり歴史感も味わえます。

今回、皆さんは、約80メートルの道を整備。宝くじの神様「福の神地藏」駐車場から墓所の石段、古道、慰霊塔広場へと続く遊歩コースとして楽しめるようになりました。ぜひ、眺望と癒しの所「湯山古道」をお訪ねください

▼遊歩コースは約600mです



▲右馬允公墓所石段と福の神地藏

